

# 愛媛県地域少子化対策重点推進事業（県分）の概要

## 1. 子育て支援コンシェルジュ育成事業

目的	<p>県では、結婚前から子育て期までの切れ目ない支援を総合的に推進しており、えひめ結婚支援センターの応援企業・協賛企業やえひめのびのび子育て応援隊など、民間活力を生かした取り組みが定着しつつある。</p> <p>このうち、「えひめのびのび子育て応援隊」（子育て応援パスポート協賛店）は、29年9月末時点で1,905件を登録し、子ども連れ来店客等への利便性向上等に協力いただいているが、第2期えひめ・未来・子育てプランで目標としている2,150件の登録に向け、各種小売店や飲食店等の働きかけを行うプロモーターを設置する。</p> <p>また、既に登録している企業や店舗等の役職員は、家族や子育て支援への理解や行政の取組に協力する意欲を持っているため、高い協力姿勢を持つ企業や店舗に働きかけ、顧客と直接対話することの多い従業員に対し結婚支援・子育てに関する研修を実施のうえ、顧客等が抱える結婚や子育てに関する相談や困りごとに関して専門機関等を紹介できる人材として認定することにより、子育て家庭等を地域ぐるみで応援する機運の醸成を図る。</p>
内容	<p>(1) えひめのびのび子育て応援隊（子育て応援パスポート）プロモーターの設置 「えひめのびのび子育て応援隊」（子育て応援パスポート協賛店）の取組を拡大するため、県内企業や小売店等に対して協力を働き掛けるプロモーターを設置する。</p> <p>(2) えひめのびのび子育て応援隊（子育て応援パスポート）プロモーターによる働きかけ 「えひめのびのび子育て応援隊」（子育て応援パスポート協賛店）の取組を拡大するため、県内企業や小売店等に対してプロモーターから働きかけを行う。この際、結婚支援の取組にも協力意欲を持つ企業に対して、えひめ結婚支援センターの協賛企業・応援企業の登録が可能であることを合わせて紹介することにより、結婚から子育てまでの切れ目ない支援を可能とする。</p> <p>(3) 子育て支援コンシェルジュ（★★★）による子育て支援機関等の紹介 「えひめのびのび子育て応援隊」登録店舗等のうち、高い協力姿勢を持つ企業や店舗にプロモーターから働きかけ、従業員に対し結婚支援・子育て支援に関する研修を実施のうえ、顧客等が抱える結婚や子育てに関する相談や困りごとに関して専門機関等を紹介できる人材（子育て支援コンシェルジュ）として認定することにより、地域住民が利用する店舗等で日常的に交わされる対話において、結婚や子育て支援等に関する専門機関等の紹介を可能とし、結婚や子育てを地域ぐるみで応援する機運を醸成する。</p>
事業費	1,576千円

## 2. 「えひめ家族フォーラム～地域全体が家族を考える日～」(仮称) 開催事業

目的	<p>本県では、結婚や子育ての希望を支援するため、民間団体等と連携のもと、思春期から結婚、妊娠・出産、子育て全般期まで、各ライフステージに応じた切れ目ない支援を総合的に展開している。特に、子育て支援については、子育て応援アプリの開発や子育て応援パスポートの配布等を通じ、社会全体で子育てを支える仕組みや意識が形成されつつあるほか、家事・育児の夫婦間協力が第2子以降の出生に影響を与えることに着目し、男性の家事・育児参画促進にも取り組んできた。</p> <p>今回、これらの取組みや地域での子育て支援の機運醸成を一層推進するとともに、子どもが大切にされ、県民一人ひとりが家族や地域について考え多様なライフデザインを描ける社会の実現を図るため、家族をテーマとしたフォーラムを開催する。</p>
内容	<p>1 概要</p> <p>子どもを家族が育み、家族を地域が支える社会の実現に向け、民間団体等と連携し、多様な家庭や家族の形態があることを踏まえ、生命の大切さや家族の役割</p>

	<p>等についての理解促進を図る。</p> <p>2 開催時期及び場所 日時：平成30年10～11月（予定） 場所：えひめこどもの城（松山市西野町乙108番地1）（予定）</p> <p>3 対象者 子育て世帯や地域住民（学生、独身者、高齢者等）等 1,300名程度（展示コーナー等来場者含む）</p> <p>4 内容 ○全体大会 ・専門家等によるトークセッション ・地域での子育て支援活動者等によるパネルトーク など ○展示コーナーや親子向けブース「フェス☆子育て楽イチ楽ザ」（仮称）の開催 ・専門家等による各種実践講座の実施 ・家事・育児初心者のための“コツ・裏ワザ”伝授コーナー ・赤ちゃん・幼児救命救急の基礎のキソ など ・三世代交流イベントの開催 ・子育て相談やリフレッシュのための「子育てホットスペース」の設置 など</p>
事業費	1,554千円

### 3. 愛顔でパパッとチーム「きらきら子育て」事業

目的	<p>子育て応援アプリ及びPCサイトに男性の家事・育児参画を促進するためのコンテンツを追加する。</p> <p>結婚から子育てまでの切れ目ない支援を実施するために運営しているスマホアプリ及びサイトの利用は母親が多いが、男性利用者の増加を図ることにより、「子どもの育児における夫・妻の役割」を同等と感じる人の割合を向上させ、性別役割分業観の転換につなげる。</p> <p>このため、現状の機能に加えて次のコンテンツを追加し、子どものスケジュールの夫婦間での共有のほか、男性同士の情報交換・コミュニティの場を設定し、男性が家事や育児に参画するポジティブなイメージを広げる。</p>
内容	<p>1 男性の家事・育児参画リレーメッセージ 28年度に本県で設立したイクメンメンターネットワーク等の協力を得て、イクメンの先輩となる人たちに、自らの子育てについての記事を書いてもらう。 女性よりも比較的に子育てに関して周囲の人に相談しない男性が記事を見ることで共感できたり、自分に足りない所を気づくことで利用者が男性の家事・育児をポジティブに考える機会とする。 また、記事を定期的に配信することで、アプリの利用も活性化させる。</p> <p>2 イクメン写真キャンペーン（きらきらフォトキャン）の開催 SNSを活用し、男性が家事・育児に参加している写真を投稿、高い評価を受けた投稿者に賞を贈るキャンペーンを開催。 また、投稿者自身が家事・育児をしている男性の具体的なロールモデルとなり、ポジティブな写真を見た他の利用者が、「自分も家事・育児に参画できる」あるいは、「育児は夫と妻が同じように行うほうがよい」と感じることで男性の家事・育児参画の機運を醸成する。 本アプリでは自らのライフステージに応じて結婚、妊娠、出産、子育ての配信情報を選択することができるが、「子育て」以外の登録者に対しても、本グランプリの「お知らせ」をすることで、子育てに対するポジティブなイメージを与え、子育て家庭に温かい社会づくりの実現を図る。 なお、不適切な情報が投稿される場合も想定されることから、投稿上の注意などを誘導ページ等に明記のうえ、事務局による管理を行う。</p> <p>3 お父さんと子どもとのふれあい方図鑑 子どもの月齢別に合わせ、お父さんを対象とした子どもとの遊び方を「きらきらナビ」のSNSアカウントに投稿することで紹介。 女性では難しいダイナミックな遊びを紹介することで、父子のふれあいの時間を</p>

	作る。 なお、動画の作成にあたっては、男性の育児参画を目的としながらも、女性も参考にできるようなものとする。
事業費	1,114 千円

#### 4. えひめ結婚支援センター運営事業

目 的	<p>これまで実施してきた結婚支援の取組を踏まえ、新たに異業種交流の強化に取り組むことにより、未婚率の上昇が著しい若手社会人の交流機会を拡充するとともに、全国結婚支援セミナーの開催を通じて、各地域の優良事例や共通課題等を持ち寄り、県内の結婚支援事業関係者やボランティア等のスキルアップを図り、地域全体で若者の成長と結婚の希望をかなえようとするものである。</p>
内 容	<p>新たに、異業種交流の強化に取り組む。</p> <p>平成 26 年経済センサス民営事業所集計では、県内民間事業所(58,497 事業所)の 80%以上が従業員数 9 人以下との結果が出ており、通常の労働環境内で同世代の独身異性が出会う確率は低いことから、各事業所の垣根を超えて若手社会人が出会う機会の拡充が求められている。</p> <p>このため、すでに運用している結婚支援システム等を活用しつつ、地域全体で総合的な結婚支援を推進する「愛顔の結婚支援ネットワーク」を構築し、地域の中堅企業をコアに関連企業、取引先等を巻き込んだ異業種交流活動を実施する体制を整備することにより、利用者の年齢層の広がりが見込まれるほか、各事業を有機的に連携させ、異業種交流活動から出会いイベント参加やお見合い事業利用などへ、結婚支援の選択肢を広げ、全体として結婚したい人が結婚できる環境を整える。</p> <p>なお、取組にあたっては、一人ひとりのニーズが異なることを前提に、結婚支援を受けないことも含めて個人の意思を尊重し、多様性に配慮するとともに、特定の価値観の押し付けやプレッシャーにならないよう配慮する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「愛顔の結婚支援ネットワーク」の構築       <p>地元経済団体、企業、学校等が連携するネットワークを構築し、結婚支援の優良事例や課題への対応について検討するとともに、若手従業員等も参画できる異業種交流活動を通じて、結婚観、仕事に対する多様な意識について認識を深める。</p> <p>さらに、異業種交流活動に参加した独身者が自分に合った婚活スタイルを選べるよう、独身者セミナー・小規模出会いイベント・お見合い事業等のメニューと継続した仕組みとする。</p> </li> <li>2 結婚支援拠点の運営       <p>異業種交流及び結婚支援の拠点運営(17 坪 家賃、共益費、什器借上、担当職員の配置)</p> <p>29 年度に着手したサテライトセンターの更なる活用を図る。具体的には、お見合いシステム利用に加え、29 年度の参加者アンケートで希望の多かったコミュニケーションカ・ライフプラン・マナー向上等のセミナーや婚活イベントを実施するほか、ボランティア推進員による相談会を定期的で開催し、一人ひとりのニーズに応じたきめ細かなサポートを展開する。</p> </li> <li>3 えひめ結婚支援センター開設 10 周年記念全国結婚支援セミナーの開催       <p>全国各地の優良事例や共通課題等を持ち寄り、県内の結婚支援事業関係者やボランティア等のスキルアップを図る全国結婚支援セミナーを開催する。</p> </li> <li>4 出会いイベントの開催       <p>応援企業(イベント主催者:市町・団体等を含む)、結婚支援ボランティア等と連携し、幅広い年齢層が安心して利用できる婚活イベント、セミナーを実施する。また、上記 1、2 の参加者が継続して活動できる内容を組み合わせる。(上記 1、2 を含め、年間 240 回程度 参加者数 7,000 人程度)</p> <p>なお、センターが主催する出会いイベントには必ずボランティアによるフォローと付随するセミナーを組み合わせるとともに、お見合い事業を案内し、全体として効果を高める。</p> </li> <li>5 えひめ愛結び(お見合い)推進事業</li> </ol>

	<p>ビッグデータを活用した結婚支援システムとボランティアによる交際フォローを組み合わせ、会員同士のお見合い、交際フォローによる結婚支援を行う。</p> <p>県及び結婚支援センター運営委託先が、結婚支援システムやビッグデータの活用効果を検証する手法を習得するため、新たに、データ分析の専門家からの助言をもとに、PDCA サイクルによる改善の仕組みを構築する。</p> <p>6 マッチング力向上事業（システム共通展開）</p> <p>四国4県と連携し、マッチングシステムの共通化、運用コストダウン等に向けた検討に取り組む。</p>
事業費	28,117 千円